

寄付講座を通じ社会 インフラ整備に貢献

大成ロテック、カン
ボジア工科大と覚書

大成ロテックは2月15日、日本とカンボジアの情報共有と人材交流を通じて、同国の道路建設など社会インフラ整備への貢献につながる事業を実施するための調査を目的に、カンボジア工科大学と寄付講座の開設に向けた覚書を締結した。同社が海外の大学と覚書を交わすのは、2018年5月にベトナムの交通運輸大と交わした研究開発に続く2件目。今後、双方で講座の内容に関する詳細を検討し、早ければ10月には講座を開設する見通しだ。

同社は18年7月、同大職員を東京に招いて両国の道路建設事業や技術について情報を共有するため「国際技術セミナー」を開催。その際に、同大から講座開催の要望があり、実現に向けて双方で協議を続けてきた結果、今回の基本覚書の締結に至った。

覚書の交換式であいさつした町田佳隆国際支社長は、「お互いにとって意義のある講座を実施し、双方が協力して良い成果を上げることが期待している。今回の覚書の取り交わしがカンボジア、日本両国のさらなる友好関係の発展に寄与することを願う」と述べた。